

アートが生まれる高架下 阿佐ヶ谷-高円寺間で「高架下芸術祭」を初開催！ 老舗銭湯「小杉湯」とコラボし、ライブペインティングや演劇ワークショップなど

JR中央線・総武線 高円寺駅の西側高架下エリアで、2019年9月23日（月・祝）から11月4日（月・祝）まで「高架下芸術祭」を初開催します。

期間中は週末を中心に、高円寺の老舗銭湯「小杉湯」の番頭をしながら絵画や演劇の制作などを行う若手アーティストたちが、作品制作やワークショップを行い、参加者そして高架下を通行される皆様と、作品の生まれる過程を日々共有します。

最終日11月4日に全作品が完成するとともに、開催期間中アートを通して高架下へのまなざしを、彩りのある風景に変えていくことを目指していきます。

1. 阿佐ヶ谷-高円寺間での取り組みについて

JR中央線・総武線 阿佐ヶ谷駅～高円寺駅間の高架下では、地域コミュニティ形成に向けた取り組みとして、2017年より大小様々なイベントを開催してまいりました。2019年5月～6月に行ったイベント「高架下を楽しもう！」では、地域の方々に高架下を楽しむアイデアを持ち寄る「アイデア祭り」を開催し、様々なアイデアが飛び出しました。

今回、その中のアイデアのひとつであった芸術祭を実現することになりました。今後も、高架下の新たな活用方法を見出すとともに、地域の皆様との連携作りを目的としたイベントを開催してまいります。

「アイデアで高架下を楽しもう！」とは

2019年5月12日（日）～6月2日（日）に行った、新しい高架下の使いかたを地域の方々と一緒にアイデア出しをしたイベント。「高円寺と阿佐ヶ谷の間の高架下にミニSLを走らせてみた」「高架下で夜を明かしてみた」などの「高架下でこんなことができる？」というアイデアをもとに実現した「高架下を楽しむためには？」のスペシャル映像もイベント内で上映しました。



<アイデアで高架下を楽しもう！イベントの様子>

2. 「高架下芸術祭」について

(1) イベントコンセプト

さまざまな文化が息づき、ひとびとの自由なふるまいを受け入れる街、高円寺。

JR高円寺駅西側、昔ながらの個性的な店がひしめき合う、高架下を進んだ、その先に。

また、新しいアートが生まれようとしています。まだまだ、見つけてください。ここも、高円寺です。

ここも、高円寺。
高架下芸術祭

<イベントロゴ>

(2) イベント概要

高円寺は、個性豊かな飲食店がひしめき、様々な人々が息づく多様な性に恵まれた街ですが、高架下は広大な空間を持ちながらも、高円寺の住民たちも馴染みが薄いエリアです。しかしながら、高円寺を次の街に緩やかにつなげる線路の下だからこそ、高架下は多様な文化を受け入れる豊かな器となるのではないのでしょうか。

“高架下芸術祭”は、アートを通して高架下への眼差しを変える試みの一つです。高円寺の住民たちから愛される老舗銭湯「小杉湯」とのコラボレーションにより、実現しました。小杉湯の“番頭さん兼アーティスト”たちが11月4日のメインイベントに向け、9～10月は準備期間としてワークショップなどのサブイベントを行います。“番頭さん兼イラストレーター”である塩谷歩波は、メインイベントまでの2ヶ月間、高架下で高架下を描きます。（ライブペイントも開催予定）また、クラフトビールを楽しむビアフェスも、近隣の「アールリエット高円寺」と同時開催いたします。高架下が緩やかに変化していく様子を、一緒に楽しみましょう。

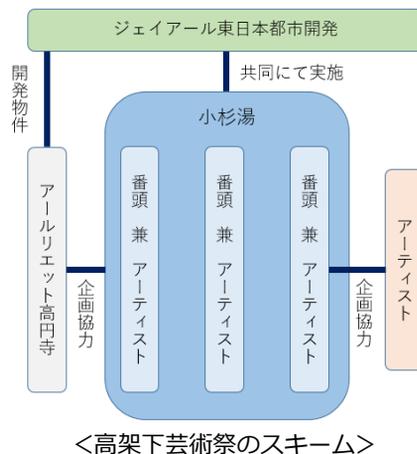
【開催場所】メインイベント及びサブイベント①～⑤全て高架下倉庫
東京都杉並区阿佐谷南2-36

【SNS】 twitterアカウント：@KArtfes
Instagramアカウント：@koukashita_artfes
(詳細はSNSで随時発信予定)



<小杉湯外観>

小杉湯：JR高円寺駅から徒歩5分、活気あふれる商店街を通り抜け住宅街に入ると、昭和にタイムスリップしたような破風屋根のレトロな建物が存在感をしめしています。音楽、ファッション、サブカルチャーを中心とした多様な中央線カルチャーと、古き良き歴史が混在する高円寺の憩いの場として、多くの方から愛されている昭和8年創業の老舗銭湯です。名物ミルク風呂、週替り・日替り風呂、水風呂があり、温冷交互浴は小杉湯の代名詞となっています。



<高架下芸術祭のスキーム>

(3) 高架下芸術祭イベントスケジュール

開催日	内容
9月23日(月・祝)	演劇ワークショップ ～高架下で「自由」に振る舞おう～
9月29日(日)	イラストワークショップ ～高架下を描こう～
10月6日(日)	高架下の音あつめワークショップ ～Song for 高架下をつくろう～
10月13日(日)	演劇ワークショップ ～見える世界を自分で作ろう！～
10月26日(土)	音楽に合わせてクラフトビールを楽しもう！
11月4日(月・祝)	高架下芸術祭メインイベント

(4) イベント内容<メインイベント>

倉庫が多く高円寺住民からの馴染みが薄くも、空間的に魅力溢れる高架下エリア。昭和8年創業の高円寺の銭湯・小杉湯を担う、イラストレーター、マリンバ奏者、フォトグラファー、カメラマンが、アートを通して高架下の価値を提案します。お昼から夜にかけて高架下にて、ライブドローイング、上映会、マリンバ演奏会、演劇などを行います。アートで彩られた高架下の新たな魅力に、触れてみませんか。

【開催日】2019年11月4日(月・祝)

【開催時間】13:00～21:00

参加費無料・予約不要・途中入退場自由



<イメージ>

<サブイベント ～ナビゲーター達によるワークショップなど～>

①演劇ワークショップ～高架下で「自由」に振る舞おう～

高架下にある空き倉庫は、広くて、声がよく響く、とてもおもしろい空間です。高架下の自由な雰囲気や味方をつけて、いつもよりちょっとだけ、心と体を大きく動かしてみましょ。演劇的な要素を使いながら、ゆるやかなコミュニケーションの在り方について探ることができたらと思います。当日は高架下芸術祭の演劇公演に出演する俳優たちも参加します！

【開催日】2019年9月23日(月・祝)

【開催時間】13:00～16:00

<ワークショップ参加> 参加費500円、予約不要

<見学のみ> 参加費無料・予約不要・途中入退場自由



<イメージ>



ナビゲーター：中島梓織（劇作家・演出家・俳優/小杉湯番頭）

早稲田大学文化構想学部在学中。演劇ユニット「いいへんじ」主宰。「答えを出すことよりも、わたしとあなたの間にある応えを大切に」を指針に、ユニット旗揚げ以降、全ての作品の作・演出を務めている。

②イラストワークショップ～高架下を描こう～

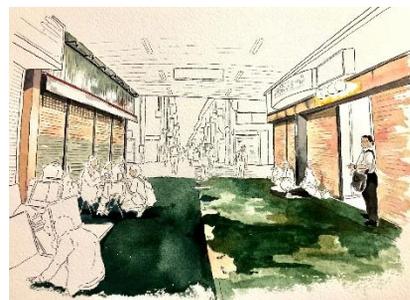
絵を描くことで、気づけなかった場所の面白さや魅力に気づくことがしばしばあります。このイベントでは、まずみんなで高架下を散歩し、そこで気づいた"高架下の面白いところ"を絵におこしていきます。最後は互いに絵を見せ合い、絵を通して高架下の魅力を再発見するワークショップです。絵の世界から、高架下をみてみませんか。

【開催日】2019年9月29日(日)

【開催時間】13:00～15:00

【持ち物】スケッチブックとお好きな画材

参加費無料（投げ銭歓迎）・予約不要・途中入退場自由



<イメージ>



ナビゲーター：塩谷歩波（イラストレーター/小杉湯番頭）

早稲田大学大学院（建築専攻）を修了後、有名設計事務所に勤めるも、体調を崩す。休職中に通い始めた銭湯に救われ、銭湯のイラスト「銭湯図解」をSNS上で発表。2019年2月に書籍「銭湯図解」を刊行。

③高架下の音あつめワークショップ ～Song for 高架下をつくろう～

マリンバに触れてみよう！

マリンバ奏者である野木青依レクチャーの元、大きな木琴「マリンバ」の演奏を体験して頂きます。マリンバの音がどのように高架下に響くのか親子で体感してみませんか？

高架下の音を捕まえてみよう！

高架下を散策し「電車の音」や「人が歩く音」など、親子でお気に入りの音を見つけて録音(フィールドレコーディング)します。最終的にナビゲーターのVegetable Record(ベジタブルレコード)」が「マリンバの音」と「集めた音」で、高架下のための音楽「Song for 高架下」を制作。親子で記念撮影した写真と共に後日お届けします。

【開催日】2019年10月6日(日)

【開催時間】13:00～14:30・15:00～16:30

参加費500円・予約不要



<イメージ>



<イメージ>



ナビゲーター:野木青依 (マリンバ奏者/小杉湯番頭)

2018年8月オーストラリア・メルボルンにて開催された「第5回全豪マリンバコンクール」第3位並びに新曲課題における最優秀演奏賞受賞。渋谷のラジオ「渋谷の東北ユースオーケストラ」メインMC。マリンバ奏者兼小杉湯番頭として、高円寺をホームに活動。

VEGETABLE RECORD

ナビゲーター:Vegetable Record

「従来のCDなどに代わるフォーマットを使い、音楽の新しい楽しみ方・価値観を創る」をコンセプトに掲げた、音楽レーベル。

小杉湯の脱衣所・待合室のための音楽「Song for 小杉湯」制作。



写真撮影:工藤葵

老人ホームの看護師として働く傍ら写真撮影、企画、執筆、コピーライティングを軸に活動。

「あおにさい酒店」の名義で不定期にイベントを開催している。今年度6月には湯上りにりんごの発泡酒を飲むイベント「あおにさい酒店×サノバミス in da 銭湯」を小杉湯にて開催。

④ 演劇ワークショップ ～演劇を楽しもう～

見える世界を自分で作ろう！

自ら体験できる参加型インスタレーション作品です。プロジェクターで投影されるスクリーンを参加者自ら変えることで、同じ物でも違って見える空間を体験していただきます。

【開催日】2019年10月13日（日）

【開催時間】12:00～19:00

（15:00・18:00にパフォーマンスあり）

参加費無料・予約不要・途中入退場自由



<イメージ>



ナビゲーター：洲上夏帆（俳優・企画プロデューサー/小杉湯番頭）

1994年生まれ 日本女子大学文学部卒業。9歳で演劇と出会ってから大人になっても演劇活動を続けている。フリーの俳優として活動する一方で2015年に藏下右京×洲上夏帆 二人芝居という演劇ユニットを結成。ユニットでは出演だけではなく演出・企画・制作も担当する。

2017年11月と翌年3月には小杉湯横のアパートで「銭湯ぐらし」という銭湯が隣にある暮らしを1カ月体験。銭湯がある日常を通して生活と芸術について考えたことを演劇にして発表。

⑤ 音楽に合わせてクラフトビールを楽しもう！

イベント期間の終盤には音楽を聴きながら楽しめるビアフェスイベントを行います。今年は「変わったオクトーバーフェスト」をテーマに、世界一多様性を受け入れる器を持つ高円寺ならではのビアフェスを目指しております。数種類のビールが飲み比べできるチケットも用意しており、いろいろなクラフトビールをお楽しみいただけます。

※「アールリエット高円寺」でも同時開催！

【開催日】2019年10月26日（土）

【開催時間】12:00～20:00（アールリエット高円寺は17:00まで）



<イメージ>



ビアフェス主催：アンドビール

2017年8月にアールリエット高円寺（高円寺北4丁目2-24）にオープンした高円寺と阿佐ヶ谷の間にあるマイクロブルワリー。自家醸造ビール含めて、クラフトビールを8タップ用意しています。スパイスカレーは日替わりです。おぼんざいもあります。

<https://www.facebook.com/andbeerkoenji>

3. 会社概要

- (1) 会社名 株式会社ジェイアール東日本都市開発
- (2) 代表者 代表取締役社長 出口 秀己
- (3) 設立年月 1989年（平成元年）4月20日
- (4) 所在地 東京都渋谷区代々木2-2-2 JR東日本本社ビル13階
- (5) 会社HP <http://www.jrtk.jp/>

<取材のお問い合わせ先>

株式会社ジェイアール東日本都市開発

岡 (shizu-oka@jrtk.co.jp) ・森山 (moriyama@jrtk.co.jp)

TEL (03) 5334-1055